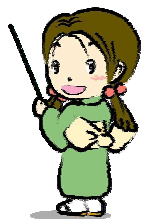


「一歩踏み出す勇氣」

～身体拘束0までの1282日～



特別養護老人ホーム丸子の里
介護職員:田中 将 竹原益見

Sさんのプロフィール

80歳 女性 介護度5

日常生活自立度M

既往歴

胃潰瘍 老年期うつ病

Sさんの行動



- 鋭い目つきで、すごいスピードで車椅子を運転する。
- 車椅子を背負ったままたちあがり何度もドアを開けようとする。
- 拘束ベルトの隙間からすりぬけ転落する。

拘束時間を短くする



- 見守りできる時間に拘束ベルトを外す。
- 拘束チェック表を作成。

拘束時間が短くなったが・・・



- 体調が良い時は、トイレ誘導時介助歩行行う。
- 腰ベルトを使用しないと転落してしまう。

車椅子を中止するにあたって



- 車椅子の使用を全面にやめる。
- 転倒時の衝撃を吸収する骨折予防グッズを作成。
- Sさん専用のヒヤリハット事故報告用紙を作成。

取り組みの結果

- ・拘束が外れたことにより、表情が穏やかになられ、笑顔で冗談を言われるようになった。
- ・長い間拘束を行っていた為、全面的に外すことはできな
いと思いついていたが、発想
の転換により外すことができた。



今後課題:水メシクソ運動

- ・1日の水分1500ml
- ・1日の食事1500kcal
- ・自然排便(医学的には3日で便秘と言われているが、竹内理論では高齢者は5日以上で便秘。下剤の使用は7日位まで待つてから。下剤を服用したことにより、腹痛を誘発し行動が落ち着かなくなるため)
- ・散歩・体操

御視聴ありがとうございました

